

新技術に関する講習を実施

～ 出前講座

「新技術発表会in岡山」～

(株)建通新聞社が開催した「新技術発表会in岡山」(令和4年3月2日)にて、『出前講座』(*1)として中国技術事務所職員が「中国地方整備局における新技術活用の取組み」についてリモートで講習を実施しました。会場には、建設コンサルタント及び建設会社の社員等、約60名の参加がありました。

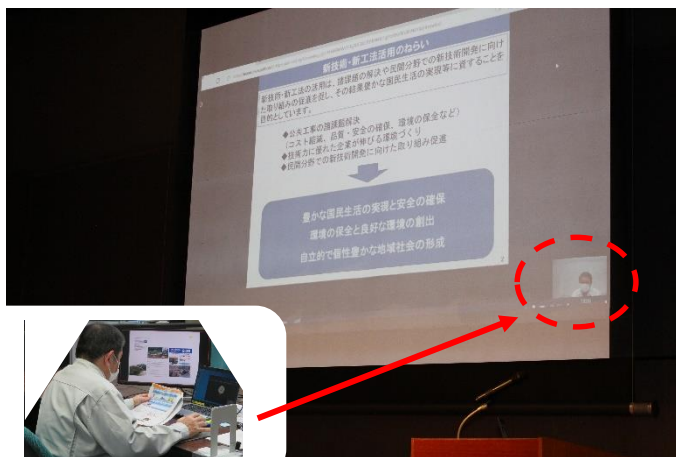
講習では、NETIS(新技術情報提供システム)のホームページでの検索方法や中国地方整備局で使用されている新技術の紹介などの説明を行いました。



*1 【出前講座】

皆様からのご注文に応じて、各種会議やイベント等に中国地方整備局職員がお邪魔して、川、道路等の取組みや専門知識を活かしたお話を届けます。約330の講座があります。詳しくはホームページをご覧ください。

<http://www.cgr.mlit.go.jp/cginfo/account/kouza/goannai.html>



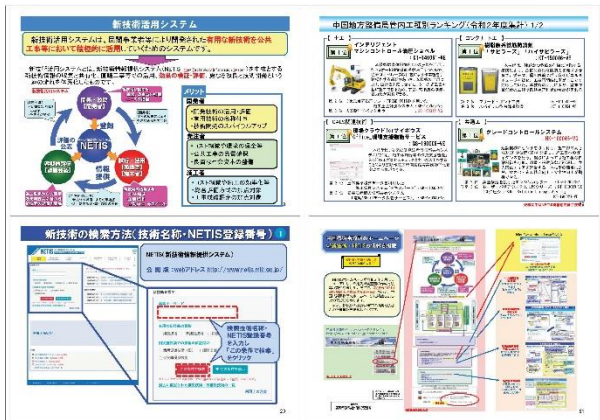
リモートは中国技術事務所会議室から

会場スクリーン

主な説明内容

- 中国地方整備局における新技術活用の取組みについて
- 1. 公共工事における新技術活用促進の取組み
- 2. 新技術活用システムの概要
- 3. NETIS(新技術情報提供システム)の検索方法
- 4. 新技術活用効果調査表について
- 5. 新技術活用による施工者のインセンティブ
- 6. 新技術の活用状況(中国地整)
- 7. 参考(中国技術事務所ホームページ、活用効果調査表の作成・提出方法の変更等)

説明資料(抜粋)



講習状況

中国技術事務所 ホームページ(新技術) : <http://www.cgr.mlit.go.jp/ctc/technology/netis.htm>

参加者の感想(アンケート用紙より)

- ONETISのホームページは普段から知識向上、コスト削減のための有用な情報源と知ることができた。
- ONETISの取組みは自治体においても広範に行われるべきと思う。
- 活用効果調査表の提出方法など4月以降の変更情報を知れてよかった。
- リモートによる講演は、声がやや聞き取りにくく、スクリーンの資料は見にくかった。